

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第243号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成22年11月19日 01時00分ごろ	
発生場所	東京都小笠原村母島西方沖 (概位 北緯26°01′ 東経137°29′)	
事故等調査の経過	平成22年12月10日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>漁船 辰丸、19.77トン WK2-3245（漁船登録番号）、辰丸漁業生産組合</p> <p>船長、一級小型船舶操縦士 機関長、六級海技士（機関）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗り組み、母島西方沖において航行中、平成22年11月19日01時00分ごろ、主機の5番及び6番シリンダヘッドの間から冷却水が漏れ出し、冷却水タンクが空になっていることが判明したため、直ちに主機が停止された。</p> <p>主機は、点検の結果、5番シリンダヘッド冷却水室プラグの水密部から冷却水が漏れ出しており、船内での手直しができなかったため、運転不能となった。</p> <p>本船は、手配のタグボートによって和歌山県勝浦港にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 不詳 海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>主機のシリンダヘッドは、船尾側壁に冷却水室の点検と整備のための開口部が設けられており、サイズの大きいプラグが圧入されてメタルタッチで水密が保たれていた。</p> <p>主機のシリンダヘッドは、平成22年9月下旬の定期検査で開放整備が行われ、冷却水室プラグが取り付けられたのち、水圧テストを行って漏れがないことが確認された。</p> <p>主機のシリンダヘッドは、本インシデント発生まで水漏れを生じていなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし あり なし</p> <p>本船は、母島西方沖において航行中、主機のシリンダヘッド冷却水室プラグの水密部から水漏れが生じたことから、冷却水の保持ができなくなったものと考えられる。 シリンダヘッド冷却水室プラグから水漏れが生</p>

	じた経過を明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、夜間、本船が、母島西方沖において航行中、主機のシリンダヘッド冷却水室プラグの水密部から水漏れが生じたため、冷却水の保持ができなくなったことにより発生したものと考えられる。